

議長（高木将君） 次，4番荒井康夫君の発言を許します。

〔4番 荒井康夫君登壇〕

4番（荒井康夫君） 4番荒井康夫でございます。

市町村合併をし，新生常陸太田市も1年10カ月が過ぎようとしています。大久保市長が誕生し，ことし3月に議会解散を求める署名活動が行われ，7月2日の住民投票では，賛成多数で議会が解散をいたしました。そして，8月6日に市議会議員選挙が行われ，定数26名の新たな議員が誕生いたしました。また，過日の臨時議会において正副議長が決まり，新議会体制が整いました。私は，市民の皆様との対話を大切に，開かれた議会，市民が求める行政を目指し，議員活動を精一杯務めていくことをお誓い申し上げ，ただいまより，通告に基づいて一般質問をさせていただきます。

初めに，地域福祉についてご質問いたします。

社会福祉の分野において，国の施策として社会福祉構造計画が進められ，さまざまな改革が行われていますが，介護保険事業の一部改正，障害者自立支援法が施行され，利用されている方々は困惑しているように聞いております。例えば介護保険事業について，ベッドを介護保険で借りていた人が介護度によってサービスが受けられなくなり，今後ベッドを買うか，高いリース料を払って借りるかなど，対象者の方々は不安を抱えていることと思われま

す。ことし3月の定例議会において，同僚議員が障害者自立支援法について質問され，市長のお考えをお伺いいたしましたが，現在，障害者を持つ家族の方々は，サービス体系が変わることに不安を感じているのが実情であります。常陸太田市としてもいろいろ思索をしていることと思いますが，現在サービスを受けている方々，これからサービスを利用される方々に一刻も早く周知をし，不安を取り除けるようお願いするとともに，今年度策定予定の障害者福祉計画も，障害者の方々が安心して暮らせる常陸太田市になるようにご期待する次第であります。

また，常陸太田市として，さまざまな福祉計画を作成しておりますが，児童福祉に関しては次世代育成支援地域行動計画，高齢者に対しては高齢者福祉計画，それに，今年度策定予定の障害者福祉計画と，各分野において計画化され，常陸太田市の福祉も着々と進展しつつあります。

本年度の施政方針に，「健康で安心していきいきと暮らせるまち」として，「市民が地域福祉活動に積極的に参加することができるように，各種の地域団体と連携・協働を図り，地域に根ざした福祉活動を推進」していくとあります。ご承知のとおり，平成16年12月1日の合併後，各地区の地域福祉の取り組み方もさまざまであり，調整・検討を重ね，ご苦労されながら，地域福祉を推進していることとお察し申し上げます。

このような中，国では，県や市町村に対して地域福祉計画の指針を示しているようですが，市民の関心が深い身近な地域福祉を，合併後の新たな常陸太田市として，将来に向けて計画的に行っていかなければならないと考えます。今後，どのように地域福祉を

進めていくのかお伺いいたします。

2点目に、道路整備についてご質問をいたします。

道路行政につきましては、すべての面で基盤整備の根幹をなすものであるため、道路整備の推進に力を注いでいることは理解をいたします。しかしながら、県道・市道など、それぞれの道路整備が非常におくれていると感じます。

その中でも、市道の松栄町内子線は、交通量が多い道路であるにもかかわらず道路幅が狭く、子供たちの通学道路でもあります。また、通勤時間帯の通行禁止など、地域住民が利用をするのに危険の多い、なおかつ非常に不便な道路です。このような道路に関しては、安全安心といった観点から早急な対応が必要だと考えます。この市道松栄町内子線は、合併前に道路整備計画をし、約4年ぐらい経過をしていますが、今までの経過とこれからの進捗状況をお伺いいたします。

3点目に、都市間交流を生かした地域振興についてご質問をいたします。

常陸太田市は、秋田県秋田市、茨城県牛久市とは姉妹都市、中国浙江省余姚市とは友好都市、秋田県仙北市とは有縁友好交流関係にあります。これは、合併した旧4市町村が長い歳月をかけて、相手都市と深いきずなをはぐくんできたたまものであり、新市においてその意思は受け継がれていくものと認識をしております。

特に目立った産業のない当市において、市を元気にするためには、外部から多くの皆さんに来ていただき、交流人口の増大を図っていくことが重要なことと考えます。幸い常陸太田市は、合併により多くの都市と友好関係にあるわけですので、この関係を改めて十分認識した上で、特に観光や農政などの産業経済部門において、この都市交流を積極的に活用していくべきと考えますが、いかがでしょうか。

また、これらの友好関係にある各都市と、当面どのような交流を図り、市の発展に寄与されていくのかお伺いいたします。

4点目に、市の涉外能力の向上についてご質問をいたします。

地方では、三位一体改革による影響がいや応なしに押し寄せております。これまでほぼ横ばいで進められていた地方行政も、創意工夫と適切な判断力のない自治体は、生き残っていくことができない時代となっております。常陸太田市も、財政事情は非常に厳しいものと認識をしております。しかしながら、財源のない中でも、日ごろから地道に、常陸太田市の優位性を外部に発信し続けることが重要であります。

特に、常陸太田市の重要課題である観光振興や企業誘致において、ただ待つだけでなく、常陸太田市の営業マン的役割をする職員を外部に派遣するなど、あらゆる関係を活用して開拓すべきであると考えております。組織的あるいは職員の涉外能力の向上策についてお伺いいたします。特に工業団地への企業誘致については、他地区工業団地との競争にもなりますので、その能力向上は必須要件だと思います。

また、中心になるのは県の東京事務所となると思われしますので、隣接の常陸大宮市との連携・協力した対応をすべきと考えますが、いかがでしょうか。

5点目に、教育行政についてご質問いたします。

現在、常陸太田市のスポーツ施設は6施設あります。その6施設の予約システムについてお伺いいたします。

インターネットでの予約の中で、高齢者やパソコン未使用者に対しての不便さは与えていないでしょうか。

直接事務所予約や来所予約の方々に、急に利用しなくなった際、午後5時15分過ぎの対応についてはどういった対応をしているか、お伺いをいたします。

以上5点をお伺いし、1回目の質問を終わりにします。

議長（高木将君） 答弁を求めます。保健福祉部長。

〔保健福祉部長 増子修君登壇〕

保健福祉部長（増子修君） 荒井議員から、地域福祉の基本方針についてのご質問がございました。ご答弁申し上げます。

近年の社会情勢につきましては、人と人とのつながりが希薄化し、伝統的な地域の相互扶助機能が弱体化するなど、大きな変化をしております。多様化する住民ニーズに行政サービス、これは公助と申しますけれども、公助のみで対応することが非常に難しくなってきています。

このようなことから、障害者、高齢者のみならず、だれもが支援を必要とする立場になる可能性があることを認識し、お互い様という視点で助け合う活動、これを共助と申しますけれども、この共助がどうしても必要になってきております。すべての人が住みなれた地域で、その人らしい、安心のある自立した生活を送ることができる地域社会を築くためには、自助・共助・公助の各施策・活動が協働することが必要であり、このような地域社会を基盤として福祉のあり方、すなわち地域福祉の推進が強く求められているところでございます。

国においては、介護保険制度や支援費制度など、社会福祉基礎構造改革が進められているとともに、平成12年に社会福祉事業法が社会福祉法に改正されておりますけれども、地域福祉の推進がここで明記されまして、平成15年4月1日から施行され、同法第107条の規定によりまして、市町村地域福祉計画の策定が位置づけられたところでございます。

この地域福祉計画は、単に行政が行う施策を示すだけではありませんで、住民一人ひとりが地域で暮らすために何が必要か、何をしなければならないのか、それをだれが行っていくのか、それぞれの役割分担をどうしていくか、それぞれの連携をどう図っていくか、地域でそれぞれが何をしていくかなどを取りまとめていくものでございます。行政、社会福祉協議会等の関係機関はもとより、NPO法人、それから民生委員・児童委員、ボランティア関係者などなど、社会福祉に携わる人たち、そして、何よりも地域に住む人たちの住民主体となって考え、実行していかなければならない、本当の意味での住民が主体となっていくことが求められる計画でございます。

本市におきましては、現在、策定作業が進められている新しい総合計画の将来像や基本方針などの考え方を基本に置いて、策定に入ってまいりたいと考えております。なお、この策定につきましては、平成19年度に着手しまして、平成20年度に完了したいなという方向で考えているところでございます。

以上でございます。

議長（高木将君） 金砂郷支所長。

〔金砂郷支所長 菊池勝美君登壇〕

金砂郷支所長（菊池勝美君） 2番目のご質問でございます。松栄町内子線の進捗状況、それから今後の予定ということについてご答弁申し上げます。

当路線は、平成15年度に計画をいたしました。16年度に地形測量、さらに17年度には、全体計画延長約1キロメートルでございます。その道路改良計画の法線案、そして、浅川堤防区間延長約150メートルの道路概略設計、さらには、県道常陸那珂港山方線側の平面交差点概略設計、これらを完了してございます。今年度は、道路改良計画法線に基づきましての地権者との説明会、さらに、測量調査設計等を予定してございます。

次に、今後の予定でございますが、平成19年度詳細測量、詳細設計等を実施する予定でございます。さらに、20年度、21年度にかけまして、用地測量、さらに買収、それから、物件移転等の補償の調査、補償等の業務、これらを実施いたしまして、21年度もしくは22年度に工事の着工予定を考えてございます。

荒井議員ご指摘のとおり、松栄町内子線は、町内唯一の生活道路であるとともに、那珂市や水戸市方面への通勤・通学道路として重要な路線であると私どもも認識をしておりますので、早期整備に向けて努めてまいります。

以上でございます。

議長（高木将君） 市長公室長。

〔市長公室長 川又善行君登壇〕

市長公室長（川又善行君） 市長公室関係のご質問にお答えいたします。

まず、都市間交流を生かした地域振興についてお答えいたします。

合併前の常陸太田市と秋田市及び中国余姚市、金砂郷町と角館町 現在は仙北市でございます、水府村と牛久市の姉妹都市等の交流については、合併後についても継続しているところでございます。

常陸太田市、秋田市、仙北市の3市については、これまでの秋田市、仙北市それぞれの交流関係から、3市の連携交流に向けて現在協議を行っており、この中で、1つとしては文化交流、また、観光・経済交流、災害時相互支援、青少年交流、スポーツ交流、行政間交流を交流の基本方針としまして、平成19年度に3市連携交流の調印を行っていきたいと考えております。また、これにあわせて、平成19年度については記念事業についても企画してまいります。

中国余姚市につきましては、平成17年度に行政研修生として武彦氏を受け入れたとこ

るでございますけれども、帰国しました武彦氏が、現在、余姚市の要職についておられます。今後、これらの人脈を活用してまいりたいとも考えております。

牛久市につきましては、本市より、7月のうしくかっぱ祭り、11月のうしくWa i ワイ祭りへの市民等の参加をしているところでございますけれども、牛久市からも、毎年11月に市民が本市にハイキングに訪れています。引き続きこれらの交流を活用しながら、お互いに観光、農政、産業、経済等にメリットのある交流について、関係各市と連携を図りながら協議を進めてまいりたいと考えております。

次に、観光振興や企業誘致の涉外能力の向上についてお答えいたします。

市においては、本年4月より企画課に企業誘致専任係長を配置し、工業団地への企業誘致を推進していること、誘致に当たっては、各工業団地の事業者である茨城県、茨城県開発公社、TCプロパティーズ株式会社と連携を取り、さらに、本年度より茨城県において企業誘致を強力に進めるために設置された産業立地東京本部とも直接情報交換を行いながら、市においても独自に情報を取得し、企業訪問を行い、企業誘致を推進していることは、先日の立原議員のご質問にお答えしましたとおりでございます。こうした中で、宮の郷工業団地につきましては、常陸大宮市との連絡体制の整備について、現在検討を進めております。

また、市の魅力やよさを全国にPRしていただくとともに、市のまちづくりに関する助言、提言、あるいは情報等の提供をお願いするため、本年度、常陸太田大使の委嘱を予定しているところでございますけれども、大使の皆様からも積極的に情報を収集しまして、企業誘致の活動を推進してまいりたいと考えております。

職員の涉外能力の向上策でございますけれども、本年度、職員の民間企業への派遣研修を実施するほか、企業誘致に当たっても、あらかじめ担当職員が大手企業のOBなどから企業の情報等についてお聞かせいただき、企業の考え方等についても把握することによって、涉外能力の向上に努めているところでございます。

以上でございます。

議長（高木将君） 教育長。

〔教育長 小林啓徳君登壇〕

教育長（小林啓徳君） スポーツ施設の予約システムについてのご質問にお答えをいたします。

当市の常陸太田地区、金砂郷地区、水府地区の社会体育施設の利用申し込みにつきましては、茨城県のスポーツ施設予約システム整備運営協議会に加入しておりますので、パソコンや携帯電話からスポーツ施設の予約をすることができるようになっております。

ご質問1点目の、高齢者の方がパソコン等で予約ができないときの対応でありますけれども、パソコンだけではなく、今までどおり直接体育館に電話、また、体育館受付窓口にて口頭で予約することができるようになっております。

2点目の、当日予約なしで午後5時15分以降施設利用をしたいが、その場合の対応は

ということでございますけれども、これにつきましては、スポーツ施設を利用する場合、使用料を納付後利用することになります。山吹運動公園体育施設につきましては、午後5時15分以降はシルバー人材センターに施設管理を委託しておりますので、施設使用許可書確認のみで、現金を取り扱ってはおりません。したがって、スポーツ施設を利用することはできない状況でございます。今後、各地域の体育施設利用見直しの中で、検討してまいりたいと思います。

議長（高木将君） 4番荒井康夫君。

〔4番 荒井康夫君登壇〕

4番（荒井康夫君） ご答弁、まことにありがとうございます。

1点目の地域福祉についての件でございますけれども、市民が地域福祉活動に積極的に参加することができるように、各種の地域団体と連携・協働を図り、地域に根ざした福祉活動を推進していくというのが、地域福祉計画の根本でございますけれども、その辺をしっかりとこれからも……、今後19年度に着手をして、平成20年に実行していきたいということでございますけれども、一番高齢者の方々が、今、非常に不安になっていることと思いますので、地域の方としっかりと協議をした上で、計画を作成していただきたいと思っております。

2点目の道路整備についてでございますけれども、松栄町内子線は非常に重要路線でありますので、早急なる整備を要望いたしたいと思っております。

3点目の都市間交流を生かした地域振興についてでございますけれども、旧4市町村が、長い歳月をかけてしっかりと交流を深めてきた地域でございます。平成19年度には3市連携交流の調印を行うということでございますけれども、交流人口の増大がこの地域にとっても経済効果になると思っておりますので、ぜひ交流を盛んにしていただき、その中で観光や農政など、いろんな角度で交流を深めていただきたいと思っております。

また、中国の余姚市の武彦氏は、現在は中国の余姚市の方に戻りまして、そこのパイプをしっかりととりながら、いい形で情報交換をしながら、この常陸太田市に少しでもメリットのある交流をしていただきたいと望んでおります。

また、牛久市が、今年度11月に常陸太田市にハイキングに来るということでございますけれども、当市の大久保市長にもぜひそのハイキングに参加をしていただいて、いい形で、常陸太田市に来てよかったという印象づけをしていただきながら、今後も交流をしっかりとっていただきたいと思っております。

4点目の職員の渉外能力向上策については、再度市長の方にどういった向上策を講じているのか、お伺いをいたしたいと思っております。

また、企業に派遣をして、職員の研修をしているということでございますけれども、今後も十分、企業の厳しさの中で、しっかりと研修をしていただきたいと思っております。

5点目の教育行政についてでございますけれども、了解をいたしました。

以上で、一般質問を終わりにしますが、ここ常陸太田市は、磨けば輝く自然、文化、歴

